

東三河版



遊具(1)
清水 正一
南風会所属

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

豊橋総局 〒440-0806
豊橋市八町通4-52-1
0532-52-7181 Fax:54-4655
岡崎支局
0564-22-1661 Fax:25-1554
豊田支局
0565-24-1010 Fax:25-1118
豊川通信局
0533-86-2305 Fax:82-1575
新城通信局
0536-22-0242 Fax:23-3811
蒲郡通信局
0533-68-2437 Fax:66-1465
設楽通信部
0536-62-0269 Fax:62-1577
田原通信部
0531-22-0269 Fax:23-2889

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax:221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

広告のお申し込みは
広告局三河アドセンターへ
岡崎 0564-23-3051(代)

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

緊急医
19日(豊橋) 内科 小児科(後8〜前7) 休日夜間急病診療所(48) 1110
▽外科 市民病院(33) 61
11▽産婦人科 小石マタニティクリニック(66) 1121
2、20日前0以降は市民病院

(33) 611
(11) 111
(39) 917 休日
【豊川】内
日夜間急病診
▽内科(20日) 11・30
市民病院(後8)

交通安全へビッグデータ

交通事故死者数が十四年連続で全国最多の県で、豊橋技術科学大(豊橋市)や県内企業、行政が集まり、ビッグデータを活用した交通安全の管理システムづくりを目指す研究会を発足させた。主要道路だけでなく、抜け道となる生活道路の交通状況も把握し、産官学が連携して交通事故防止に取り組む。(相沢紀衣)

研究会の座長は、豊橋技科大の松尾幸二郎助教(交通システム学)。道路標示施工業のキクテック(名古屋市南区)や、豊橋市などの担当者約二十人で構成し、二〇一七年度



末までに二、三回の会合を開く。松尾助教は三年前、車両に搭載されたカーナビのデータを使い、生活道路の交通状況を把握する研究を始めた。警察庁の二五年の統計によると、全国の

交通死者数は減少しているが、生活道路は幹線道路に比べ減少が緩やか。幹線道路は測定器で交通量を測ることができ、道が細く数多い生活道路では、局所的にしか把握できていなかった。これまでの研究などでは、急ブレーキをかけた場所をデータとして地図上に点で表し、事故が発生する可能性がある。高い地点を調べるとはできた。松尾助教によると、車両の位置や速度を記録したビッグデータを活用することで、そうした情報に加え、どの時間帯に生活道路が多く利用されているのかも把握できるようになる。信号のない交差点の見通しを良くするためには、どんな道路改良が適切かなどをシミュレーションして判断できるようになる。研究会は、産官学がそれぞれの立場から、交通安全につながる研究内容を話し合う場として開かれる。

研究会について説明する松尾助教(豊橋市天伯町の豊橋技術科学大で)

豊橋技科大など産官学で研究会

豊橋市およびその周辺における時間帯別の抜け道距離割合※



※抜け道距離割合とは対象地域全体において当該時間帯の総走行距離のうち抜け道距離の割合
(2013年1月1日~12月31日)の1年間のデータから集計

青い目のコネタ大切に



愛知県「自動車安全技術開発」事業概要:
▶自動車安全技術分野において研究者や技術者等により構成されている研究開発プロジェクト
■実施期間:平成28年度から平成29年度
■公募期間:
▶平成28年10月17日(月)から平成29年3月31日(金)
■応募件数:2件
■審査:
▶外部有識者等による審査委員会の発展性などの観点から、採択件数:2件

に返礼で贈られた「ミッサイ」のメンバーも参加、七月から県内で始まる展示会をPR

人メドレー 豊川の今井 高校総体

科学の面白さ 実験で味わおう

1 曲